

ハイデガー・フォーラム第六回大会・総会配布用会計資料

(2011年9月15日作成、会計担当：相楽勉、関口浩、渡辺和典)

I 第四回大会後から第五回大会時までの会計について

第五回大会総会時に、会計資料を配布し、第四回大会後から第五回大会直前までのフォーラム会計収支について報告したが、第五回大会終了後には、「ハイデガー・フォーラム第五回大会会計の動き」を作成し、上記大会資料と合わせてフォーラム HP 上に掲示し、賛同人に公表した。以下、簡略に収支バランスのみ記す。残金 c の 596,780 円を、「次回大会に向けての繰越金」とすることができた。

a. 収入合計 854,991 円

(=2009.09.21 の第四回大会終了時の繰越金 469,933 円
+2009.9.22-2010.9.16 の一年間弱の収入 6,058 円
+2010.9.18/19 第五回大会時の収入合計 379,000 円)

b. 支出合計 258,211 円

(=2009.9.22-2010.9.16 の一年間弱の支出 102,711 円
+2010.9.18/19 第五回大会時の支出合計 155,500 円)

c. 2010.9.20 時点（第五回大会終了後）の残金 596,780 円 (=a-b)

II 第五回大会後から第六回大会直前までの収支状況（2010.9.20-2011.9.15）

費目ごとの内訳を省略して、この時期の会計の動きを太い線で示すと、以下のようになる。

○収入の部

0. 繰越金 (=c)	596,780 円
1. 運営協力費	14,000 円
2. Heidegger-Forum 売上	0 円
3. 郵便貯金利息	180 円
1～3 の収入合計	14,180 円
0～3 の収入総計 (=d)	610,960 円

○支出の部

1. 通信費	35,595 円
2. ポスター制作費	68,565 円
3. 印刷費	5,250 円
4. 事務費	2,218 円
支出合計 (=e)	111,628 円

∴大会直前の純資金=収入総計 (d) - 支出合計 (e)

= 499,332 円 (2011.9.15 残高、内訳：普通貯金 2,399 円+定額貯金 260,000 円+振替口座 0 円
+現金 236,933 円)

Ⅲ 第七回大会に向けての収支見通し

第五回大会後の支出が、低く抑えられているのは、大会記録 *Heidegger-Forum Vol.5* の刊行が遅れ、この電子ジャーナルの紙媒体版印刷費が、2011年9月15日現在、まだ計上されていないからである（*Vol.4* の印刷費は 82,000 円であった）。第五号も、第三、四号と同じ印刷業者に依頼し、表紙もカラーで美しく仕上げることにしている。第六回大会までには出来上がる見込み。（大会当日 1,000 円で販売予定。ただし第五回大会発表者＝寄稿者をはじめとする協力者には贈呈。大会不参加者には後日、運営協力費の郵便振込納入と引き換えに郵送する。）一般書籍としての出版は難しいので、今後もこの方式での印刷を維持したい。

第六回大会に、賛同人 60 人の参加費（120,000 円）と一般聴講者両日 20 名の参加費（40,000 円）の徴収を見込めるとして、160,000 円程度の収入。大会当日と直後の支出は、上記ジャーナル印刷費も加わるため、170,000 円程度となる見込み（コピー代 5,000 円、旅費補助 40,000 円、ポスターデザイン御礼 30,000 円、ジャーナル印刷費 80,000 円、雑費 15,000 円）。大会時の収支のみ取り出せば、これだと 10,000 円程度のマイナス。繰越金があまり目減りしないよう、賛同人や一般市民が多く参加してくれることを願う。

第六回大会に向けても、これまで同様に、宣伝ポスターを制作する（印刷代＋送料＋謝礼に 13 万円程度かかる）。*Heidegger-Forum* の紙媒体版印刷も続けていきたい。また、大会時の釣銭用意だけでも 10 万円以上必要となる。それゆえ、第六回大会後の繰越金、つまり第七回大会に向けての準備金を、少なくとも 30 万円は確保する必要がある。大会直前の総資金が（前頁最後にあるように）499,332 円あるので、十分可能な目標であるように思われる。

ハイデガー・フォーラム第六回大会（2011.9.17/18）会計の動き

◎収入の部

a. 一般人参加費

- ・ 一日目収集分51,000円（=1,000円×51人）
 - ・ 二日目収集分30,500円（=1,000円×30人+500円×高校生1人）
- 計81,500円（二日間延べ参加人数82名）

b. 賛同人参加費

計144,000円（=2,000円×72名）

c. 寄付（龍谷大学より学会開催補助金支給）

計150,000円（学生アルバイト代補助と懇親会費補助を主たる使途とする）

d. *Heidegger-Forum*紙媒体販売上げ

計18,000円（=1,000円×18冊）

∴第六回大会時収入合計393,500円（=a+b+c+d）

⇒第五回大会後の収入合計14,180円と合わせると、407,680円（=α）

◎支出の部

p. 電子ジャーナル印刷費87,003円

q. 交通費40,000円

（依頼発表者旅費補助2名）

r. 謝礼30,000円

（ポスターデザイン謝礼）

s. 事務費5,848円

（マグネット、テープ、画鋏、ペン、名刺カード、印刷用紙）

t. 雑費8,701円

（ミネラル・ウォーター、お茶、紙コップ、龍谷大への菓子折り、ジャーナル宅配代）

u. 学会補助金からの支払分93,800円

（=学生アルバイト代44,000円+懇親会費補助49,800円）

∴第六回大会時支出合計265,352円（=p+q+r+s+t+u）

⇒第五回大会後の支出合計111,628円と合わせると、376,980円（=β）

○第五回大会後から第六回大会終了直後までの収支決算は、+30,700円（=α-β）

⇒2010年9月20日残高596,780円と合わせると、627,480円

☆この627,480円が、2011.9.30現在の残金であり、第七回大会に向けての資金となる

（*第六回大会も多数の参加者に恵まれ、龍谷大からも15万円もの補助金をいただいた。他方、補助金の過半はアルバイト代と懇親会補助に充てざるをえず、印刷費や交通費の支出も相当額あった。結果として、大会収支は、30,700円のプラスとなった。繰越金は、次回大会開催に必要な資金額を十分確保できているので、予定通り大会準備を進めることができる。）